

## 令和3年度 第2回津山市男女共同参画まちづくり審議会（会議要旨）

日時：令和4年3月25日（金）14：00～16：20

場所：津山男女共同参画センター「さん・さん」

出席委員：9名（在任委員数14名）

出席市職員：5名

傍聴者：0名

議事次第

### 1 開会

- (1) 出席者紹介
- (2) 会長あいさつ

### 2 議事

- (1) 公開・非公開の採決
- (2) 男女共同参画市民アンケート調査結果について
- (3) 次期津山男女共同参画さんさんプラン策定について
- (4) ワーク・ライフ・バランス推進企業認定について（非公開）
- (5) その他

### 3 閉会

---

#### 【審議内容】（2）男女共同参画市民アンケート調査結果について（事務局説明）

委員 「家事や子育てなど、主に夫婦どちらが担当していますか？（就労形態が「共働きである」と回答された方の状況）」の結果について。「高齢者の介護」の『無回答』が非常に多いが、これはなぜか。また、『その他』の回答についてどう考えているか。

事務局 『無回答』については、アンケートに「該当しない項目については回答不要」と記載しているため、介護すべき高齢者がいない等の理由と思われる。その他については、アンケートには特に記載はないが、施設に預けられているなどの理由ではないかと思う。

委員 「高齢者の介護」の『無回答』について、施設に限らず、子どもやほかの家族が介護に携わっていることもあるのではないか。

委員 意識的には世の中に浸透しているのではないかと思うが、実際に家事全般は女性の役割となっていることのほうが多い。頭では思っているが今の状況を抜けだせていない。意識が変わり、尚且つ実際の生活に移せるようにするのは難しいのではないか。

委員 男女が責任を分担するという思想は年々高くなっていると思うが、実際には難しい部分がある。「学校における男女が平等になっているか」というアンケート結果では平等が多くなっており、教育の力は大切なのだと感じた。

委員 男性が外で働き、女性が家庭を守るべき、という意識があるわけではないが、以前は女性が家にいる環境が普通だった。今は女性が外へ出る時代となったが、それで

も家事や育児などは妻が担っている。確かに子育ての中で母親が家事をするのは大事なことだとは思いますが、父親が協力的な態度を見せることがより英才的なのではないか。

委員 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきだと思いますか。」のアンケート結果について。このアンケート内容は平成13年から続いているため、もう20年近く経過している。当時50代の方は70代になり、世代が変わっているかと思う。以前回答した方が意識を改善したのではなく、若い世代の方の意識が高くなり「そう思わない、どちらかというと思わない」と回答する方の割合が多くなっているのではないか。

事務局 おそらくそうかと思われる。津山市男女共同参画市民アンケートの調査結果報告書22頁で、この結果の年代別の表を記載しているが、70、80代の方の「そう思う、どちらかというと思わない」と回答した割合が他の年代と比べて高くなっている。今の意識の高い若い世代の方が大きくなったとき、もう少し全体の思いが良い方向へ変わっていくのではないかと感じている。

委員 若い世代に教育をする、というのが大切。

委員 「過去5年以内に、あなた自身に関してDVがありましたか？」の結果について。自分自身が暴力を受けたことがあると回答した女性が6.6%、男性が3.7%。すごく多い。「家事や子育てなど、主に夫婦どちらが担当していますか？（就労形態が「共働きである」と回答された方の状況）」のアンケートでも感じたが、これは夫婦だけの問題ではなく、その家族に子どもが存在することもある。そんな子どもたちが両親の姿をみて成長し、これから同じ事を繰り返すことを考えると、このアンケートの回答はとても大事な問題ではないか。

委員 アンケート全体を見たときにだいぶ対等になってきたのではないかと思います。

### 【審議内容】（3）次期津山男女共同参画さんさんプラン策定について（事務局説明）

資料A 資料B 資料C 資料D 資料E

委員 コロナ禍でDVや子どもの虐待が増えた。コロナ禍によるいままでと違う生活の中で、全体の意識が変わっていくためにもDV防止計画を別の区分にされたのは本当によいことだと思う。昔は相談ができない、相談体制がなかったが、今はそういった機関を活用して相談ができる。もっと相談体制を整えるなどを充実してほしい。

委員 DVの被害が減ることを、本当に望んでいる。今回は数値目標は達成しているが、この目標をもっと下げて、DV被害がもっと減ってくれたらいいかと思う。ワーク・ライフ・バランスについて、働きやすい会社ができるのはいいことだと思うが、認定を受けた企業がもっと研修会を受けていくことも望ましいのでは。

委員 基盤作りが大切。男女共同参画の視点にたった教育や学習などについて、昔の人だからこうではなく、幼いときからジェンダーの不平等や人権等に目を向けて考えていくのも必要ではないか。

委員 防災における男女共同参画について。防災の避難場所について、避難者に対する目

線が健常者の人ばかりになっているため、この計画が組み込まれたのではないかと思う。女性の場合は、授乳室などのプライバシーの確保を、車椅子で生活をされている方の場合は、移動等のことを最優先で考えなければならない。こういった場合の避難場所の開設マニュアルはおそらくまだ作成されていないかと思う。もし避難所のマニュアルがあれば、こういったことを取り入れるべきだと思う。

【審議内容】（４）ワーク・ライフ・バランス推進企業認定について 資料 1

審議内容については、津山市情報公開条例第7条第3号に掲げる非開示情報に該当するため、非公開とする。

【審議内容】 5 その他

委員 このアンケート結果は広報では配布しないのか。

事務局 広報津山4月号に「えすぽあ」という情報紙を折込している。その中にアンケート結果を載せている。また、ホームページでも概要版と冊子どちらも見れるようにしている。